

## 第3章 消防用設備等又は特殊消防用設備等の技術基準

### 第1節 総 論

#### 第1 着工届、工事計画届、設置届等の添付図書等

##### 1 着工届・工事計画届

- (1) 法第17条の14の規定に基づく工事整備対象設備等の着工の届出（以下「着工届」という。）及び藤沢市火災予防事務規程第13条の規定に基づく消防用設備等の工事計画の届出（以下「工事計画届」という。）の添付図書及び記載要領等については、別表第1－1によること。
- 別表第1－1の添付図書のみでは消防用設備等が技術上の基準に適合しているか確認できない場合は、追加の図書の提出又は添付済み図書への追記を求ること。
- なお、届出者が任意で別表第1－1の添付図書以外の図書の提出を希望する場合は、これを妨げるものではない。その際の添付図書は、別表第1－2及び第1－3を参考にすること。
- (2) 届出者が、消防法施行規則の一部を改正する省令（令和4年総務省令第62号）改正前の形式による添付図書の提出を希望する場合は、別表第1－2及び別表第1－3を参考にすること。
- (3) 消防用設備等に係る工事の区分は、別表第1－4によること。
- なお、表中「新設」、「増設」、「移設」、「取替え」及び「改造」は、法第17条の5に規定する「工事」に該当し、「補修」は、法第17条の5に規定する「整備」に該当する。
- また「撤去」は、着工届、工事計画届及び設置届を要しないものであるが、防火対象物の関係者から事前に情報提供を求めること。◆
- (4) 届出及び添付図書は、次によること。
- ア 届出は、防火対象物ごとに、原則として消防用設備等ごとに届け出るものであること。◆
  - イ 消防同意時等に消防用設備等又は特殊消防用設備等の設計に関する図書が提出され、着工届又は工事計画届の時点で設計内容に変更がなく、そのまま活用できるものは、当該図書を添付図書として用いることができる。
  - ウ 非常電源に係る計算書が条例第47条に基づく火を使用する設備等の設置の届出に添付されている場合、消防用設備等又は特殊消防用設備等の添付図書として用いることができる。この場合、着工届又は工事計画届にその旨を明記すること。
  - エ 省令第12条第1項第8号に規定する総合操作盤を設置する場合は、自動火災報知設備の届出に総合操作盤に関する図書及び総合操作盤の概要表を添付すること。◆
- (5) 法第17条の14に定める工事に着手しようとする日とは、次によるものであること。
- ア 消火設備  
各設備の配管（各種ヘッド、ノズル等を直接取付ける配管を除く。）の接続工事又は加圧送水装置等の設置工事を行おうとする日
  - イ 警報設備  
警報設備の受信機の設置工事を行おうとする日（受信機の設置工事を伴わない場合は、感知器又は検知器の設置を行おうとする日）
  - ウ 避難設備  
避難器具の取付金具の設置に係る工事を行おうとする日
  - エ 必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等
    - (ア) パッケージ型消火設備  
パッケージ型消火設備の格納箱の取付け工事を行おうとする日
    - (イ) パッケージ型自動消火設備  
パッケージ型自動消火設備の放出導管（放出口を直接取付ける放出導管を除く。）の接続工事を行おうとする日
    - (ウ) 共同住宅用スプリンクラー設備、特定駐車場用泡消火設備  
各設備の配管（各種ヘッド、ノズル等を直接取付ける配管を除く。）の接続工事又は加圧送水装置の設置工事を行おうとする日
    - (エ) 共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居

### 住施設用自動火災報知設備

警報設備の受信機の設置工事を行おうとする日（受信機の設置工事を伴わない場合は、感知器の設置を行おうとする日）

## 2 設置届等

法第17条の3の2の規定に基づく設置届の添付図書及び記載要領等については、前1、(1)及び(2)によること。

また、消防用設備等ごとに消防用設備等試験結果報告書を添付すること。

- (1) 届出は、防火対象物ごとに、原則として消防用設備等ごとに届け出るものであること。◆
  - (2) 設置届に係る添付図書で、着工届又は工事計画届に添付した図書と同一のものとなる場合は、これを省略することができる。
  - (3) 法第17条の3の2の規定により届け出て、検査を受けなければならない防火対象物以外のものについても、防火対象物の状況把握のため、消防用設備等の設置工事完了後4日以内に設置届を提出するよう指導すること。
- ◆

## 3 軽微な工事等に係る着工届の省略

消防用設備等の工事の区分が、増設、移設又は取替えに該当し、別表第1－5に掲げる工事の範囲であり、かつ、次の要件を満たす場合は、着工届を省略することができる。また、軽微な工事の範囲に該当する増設、移設、取替えの工事を同時に行う場合も着工届を省略することができる（例：自動火災報知設備について軽微な工事の範囲に該当する感知器6個の増設工事と軽微な工事の範囲に該当する感知器5個の移設工事を同時にを行う場合）。ただし、別表第1－5に掲げる工事と別表第1－4に掲げる「補修」、「撤去」以外の工事（軽微な工事の範囲を除く。）を同時に行う場合は着工届を省略することはできない。

なお、着工届を要しない場合であっても、設置届は必要であること。

- (1) 政令第36条の2第1項の規定に掲げる消防用設備等に係る工事については、着工届の有無にかかわらず、当該消防用設備等に係る甲種消防設備士が行うこと。
  - (2) 甲種消防設備士に対しては、軽微な工事を行う場合においても、当該工事の内容を記録するとともに、消防用設備等試験結果報告書、当該消防用設備等に関する図書等及び現場の状況を補足する写真、試験データ等を作成・整備し、防火対象物の関係者に提出するよう指導すること。
- なお、設置届が提出されるまでの間は、当該図書等を保存するよう指導すること。
- (3) 防火対象物の関係者に対しては、消防用設備等の修理、整備等の経過一覧表に所要の事項を確実に記録するとともに、省令第31条の6第3項に規定する維持台帳に所要の書類を添付して保存し、立入検査時等に提示できるよう指導すること。

### (4) 運用上の留意事項について◆

前(1)から(3)により運用をするにあたっては、次の事項に留意するものとする。

ア 軽微な工事に係る着工届が提出された場合、これを受理すること。

イ 軽微な工事に係る消防検査については、消防用設備等試験結果報告書、当該消防用設備等に関する図書等の確認により行うこととされているが、これらの書類のみでは基準適合性の確認を十分に行うことができない場合にあっては、現場確認を行うこととして差し支えないこと。

## 4 軽微な工事等に係る工事計画届の省略

消防用設備等の工事の区分が、増設、移設又は取替えに該当し、別表第1－6に掲げる工事の範囲であり、かつ、次の要件を満たす場合は、工事計画届を省略することができる。また、軽微な工事の範囲に該当する増設、移設、取替えの工事を同時に行う場合も工事計画届を省略することができる（例：誘導灯について、軽微な工事の範囲に該当する誘導灯3個の増設工事と軽微な工事の範囲に該当する誘導灯3個の移設工事を同時にを行う場合）。ただし、別表第1－6に掲げる工事と別表第1－4に掲げる「補修」、「撤去」以外の工事（軽微な工事の範囲を除く）を同時に行う場合は、工事計画届の省略はできない。

なお、工事計画届を要しない場合であっても、設置届は必要であること。

- (1) 工事施工者に対しては、軽微な工事を行う場合においても、当該工事の内容を記録するとともに、消防用設備

等試験結果報告書、当該消防用設備等に関する図書等及び現場の状況を補足する写真、試験データ等を作成・整備し、防火対象物の関係者に提出するよう指導すること。

なお、設置届が提出されるまでの間は、当該図書等を保存するよう指導すること。

- (2) 防火対象物の関係者に対しては、消防用設備等の修理、整備等の経過一覧表に所要の事項を確実に記録するとともに、省令第31条の6第3項に規定する維持台帳に所要の書類を添付して保存し、立入検査時等に提示できることを指導すること。

(3) 運用上の留意事項について◆

前(1)から(2)により運用をするにあたっては、次の事項に留意するものとする。

ア 軽微な工事にかかる工事計画届が提出された場合、これを受理すること。

イ 軽微な工事にかかる消防検査については、消防用設備等試験結果報告書、当該消防用設備等に関する図書等の確認により行うこととされているが、これらの書類のみでは基準適合性の確認を十分に行うことができない場合にあっては、現場確認を行うこととして差し支えないこと。

ウ 藤沢市火災予防事務規程第13条の規定に基づき、次の消防用設備等の設置に係る工事については工事計画届を要しないこと。

(ア) 消火器及び簡易消火用具

(イ) 漏電火災警報器

(ウ) 非常警報器具

(エ) 避難ロープ

(オ) 固定式以外の避難はしご

別表第1-1

設備の種類	添付図書	記載要領等
消防設備 警報設備 避難設備 消防用水 消防活動上必要な施設	<p>1 平面図 2 配管系統図<sup>※1</sup> 3 配線系統図<sup>※2</sup> 4 計算書<sup>※3</sup> 5 設備の概要表（別記様式第2～22号）◆</p> <p>※1 消火器、動力消防ポンプ設備、警報設備、避難設備、非常コンセント設備、共同住宅用非常コンセント設備、無線通信補助設備、パッケージ型消火設備を除く。</p> <p>※2 消火器、動力消防ポンプ設備、避難器具を除く。</p> <p>※3 パッケージ型消火設備を除く。</p>	<p>(1) 「平面図」には、届出に係る消防用設備等又は特殊消防用設備等について、その設置に係る階の防火区画、階段、各室の用途、床面積、高さ（天井及び天井裏高さ）、各設備の機器等の配置状況（屋内消火栓箱からの消防用ホースの延長経路、発信機や起動装置までの歩行距離等の記載を含む）、配管又は配線状況等を明記すること。</p> <p>(2) 「配管系統図」には、届出に係る消防用設備等又は特殊消防用設備等について、その構成、配管の経路、口径等を系統的に明記すること。</p> <p>(3) 「配線系統図」には、届出に係る消防用設備等又は特殊消防用設備等について、その配線の種類等、電源系統及び配線系統並びに作動順序を示す接続関係を明記すること。</p> <p>(4) 「計算書」には、届出に係る消防用設備等又は特殊消防用設備等について、次に掲げる事項を明記すること。また、算出に用いる各種係数、アイソメ図等の根拠を明記すること。</p> <p>ア 所要の水量又は消火薬剤量等の算出方法 イ 加圧送水装置、加圧ガス容器等の容量の算出方法 ウ 配管、継手、弁類等の摩擦損失の計算を含む所要揚程等の算出方法 エ 電動機等の所要容量の算出方法 オ 非常電源の容量の算出方法 カ 避難器具の取付金具及び取付ける部分の強度の算出方法 キ その他消防用設備等の設置に係る算出方法</p> <p>(5) 平面図、計算書及び試験結果報告書により、(2)、(3)に掲げる配管、配線系統図に明記すべき事項が確認できる場合は、当該平面図、計算書及び試験結果報告書をもって、配管、配線系統図と取扱うこととして差し支えないこと。</p> <p>(6) 消防用設備等又はその部分である機器等のうち、消防庁長官が定める基準に適合すべきこととされているものを用いる場合は、当該基準に適合する旨（省令第31条の4第1項の規定に基づく認定を受けたもの（以下「認定品」という。）にあっては、認定品である旨及び必要に応じて施工等の条件）を各添付図書に明記すること。</p> <p>(7) 添付図書は、記載内容が鮮明で判別可能な図書とするほか次によること。</p> <p>ア 折り上げでJISのA4サイズとすること。 イ 図面の縮尺は、100分の1以上を原則とするが、記載内容が容易に判別可能な場合は、この限りではない。 ウ 添付図書に用いる図示記号は、原則として、JISによること。 エ 電子データによる場合は、ア、イによらないことができるが、平面図等にスケールバーを明記すること。</p>
設備の種類		添付図書
特殊消防用設備等	1 特殊消防用設備等の工事の設計に関する図書 2 法第17条第3項に規定する設備等設置維持計画 3 法第17条の2第3項の評価結果を記載した書面 4 法第17条の2の2第2項の認定を受けた者であることを証する書類	

別表第1-2

	設備の種類	添付図書	記載要領等
消防設備	屋内消火栓設備	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表（別記様式第1号） 3 設備の概要表（別記様式第2、3、21、22号） 4 平面図及び断面図等 5 配管系統図 6 配線系統図及び展開図 7 仕様書及び計算書 8 使用機器図 9 消防用ホースの延長経路図（ホースを用いるものに限る。）	(1) 「断面図等」には、居室、天井の構造が立体的なものについてのみ、ヘッド、配管等の設置状況について明記すること。 (2) 「配管系統図」には、配管摩擦損失計算の基礎となる使用管長、管径、管継手、弁等を明記すること。 なお、平面配管系統図は、平面図に記載することができる。 (3) 「配線系統図及び展開図」には、作動順序を示す接続の状況を明記すること。感知器等と連動した自動起動方式及び予作動式のスプリンクラー設備は、連動の系統等、信号系統を明記した図書を添付すること。 (4) 「使用機器図」には、加圧送水装置、起動装置、自動警報装置、自動火災感知装置、ヘッド、ノズル、ホース等個々の機器の詳細を明記すること。 なお、第3章第2節第1「屋内消火栓設備」、1、(1)、イ、(ア)による認定に適合したものにあっては、ポンプ試験成績表及び加圧送水装置等の銘板写しを添付すること。 (5) 「消防用ホースの延長経路図」には、各階の最も延長経路が長い部分1か所を平面図に記載して確認すれば足りるものであること。
	スプリンクラー設備		
	水噴霧消火設備		
	泡消火設備		
	屋外消火栓設備		
	パッケージ型消火設備		
	パッケージ型自動消火設備		
	共同住宅用スプリンクラー設備		
	特定駐車場用泡消火設備		
消火設備	不活性ガス消火設備	上記を準用するほか、次による。 1 設備の概要表（別記様式第4号） 2 防護区画一覧表 3 ダクト系統図 4 自動起動系統図 5 消防用ホースの延長経路図（ホースを用いるものに限る。）	(1) 「配管系統図」には、全体系統図のほかに、貯蔵ボンベ室の平面系統図を添付し、起動ボンベ、操作導管、逆止弁、安全装置、容器弁等の系統を明示すること。 (2) 「自動起動系統図」には自動起動のもののみ、連動の状態を明示した図面を添付すること。 (3) 「消防用ホースの延長経路図」には、各階の最も延長経路が長い部分1か所を平面図に記載して確認すれば足りるものであること。
	ハロゲン化物消火設備		
	粉末消火設備		
非常電源	1 付近見取図 2 非常電源の概要表 3 配置図 4 構造図 5 接続図 6 仕様書及び計算書	(1) 「配置図」には、次の内容を明記すること。 ア 設置する場所とその周囲（平面図） イ 設置する場所（区画）の構造（室内仕上げ表を含む。）、出入口、開口部等の位置及び材質 ウ 換気装置（ダクトを含む。）の位置・構造 エ 機器及び配線の位置並びに相互の距離（平面図） オ その他必要な付属設備 (2) 「構造図」には、次の内容を明記すること。 ア 機器の姿図又は外観図。ただし、内容が確認できるカタログ等に代えることができる。 イ 耐震措置に係る内容等 (3) 「接続図」には、次の内容を明記すること。 ア 配線系統図（単線接続図又は三線接続図） イ 作動順序を示すフローチャート ウ 制御回路（インターロック回路を含む。）	
	非常電源		

設備の種類	添付図書	記載要領等
消火設備 非常電源		<p>(4) 「仕様書」は、概要表又は仕様の記載されたカタログ等に代えることができる。</p> <p>(5) 「計算書」には、次の内容を明記すること。</p> <p>ア 発電容量の算定</p> <p>イ 換気量</p> <p>ウ 冷却水量の算定</p> <p>エ 耐震措置</p> <p>(6) 認定品を使用した場合は、認定証書の写し等を添付すること。</p> <p>(7) 「負荷設備概要表」の耐火又は耐熱電線の接続方法において、標準工法以外を使用した場合は、当該工法に係る図書を添付すること。</p>
警報設備 自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報設備 消防機関へ通報する火災報知設備（火災通報装置） 共同住宅用自動火災報知設備 住戸用自動火災報知設備 特定小規模施設用自動火災報知設備（受信機を設けないものを除く。） 複合型居住施設用自動火災報知設備	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表（別記様式第1号） 3 設備の概要表（別記様式第6、7、9号） 4 断面図 5 配線図（電源系統図、設備系統図、設備図） 6 平面図 7 仕様書 8 非常電源（別置型に限る。）	<p>(1) 「防火対象物の概要表」については、無窓階該当階の有無及び該当階を明記すること。</p> <p>(2) 「設備の概要表」は次によること。</p> <p>ア 特殊な施工方法等で様式に該当項目がない場合は、備考欄に概要を記入する。</p> <p>イ 自動火災報知設備について音声警報機能付の放送設備を設置し、地区音響装置を省略する場合は、その旨を記入する。</p> <p>(3) 「断面図」には、各室の用途、間仕切壁、開口部の状況等又は建築物の屋根の傾斜、はりの深さ及びはりの間隔、天井の形状を明記すること。</p> <p>(4) 「配線図」は次によること。</p> <p>ア 「電源系統図」には、常用電源又は非常電源から消防用設備等に至る配線の概要を明記すること。</p> <p>イ 「設備系統図」には、電線管の口径、配線本数、電線路の立上り・引下げ・警戒区域、受信機、中継器、機器収容箱、副受信機の配置状況を階別、系統別に明記すること。</p> <p>(5) 「平面図」には、室名及び設備系統図を構成する機器、配線等を平面的に明記して、消火設備の設置等により感知器が省略された部分は、図面にその旨を色別等により明記すること。</p> <p>(6) 「非常電源（別置型に限る。）については消火設備欄の非常電源の例によること。</p>
避難設備 金属避難はしご（固定式のもの（固定はしご及び避難器具用ハッチに格納した金属製避難はしごをいう。）に限る。） 救助袋 緩降機	1 付近見取図 2 設備の概要表（別記様式第11号） 3 配置図 4 平面図 5 立面図 6 避難器具の設計図及び構造計算書	<p>(1) 「配置図」には、敷地内における建築物の位置、他の建築物との別、建築物の各部分と敷地に接する道路の位置及び幅員を記入する。</p> <p>(2) 「平面図」には、設置位置を記入する。</p> <p>(3) 「立面図」には、外壁面に設置階から避難階までの動線を記入する。</p> <p>(4) 「避難器具の設計図」には、避難器具を取付けける開口部の詳細、避難器具の取付金具及び取付ける部分の詳細を記入する。</p> <p>(5) 「構造計算書」には、避難器具の取付金具及び取付ける部分の強度の算出方法を記入する。</p>

特殊消防用設備等	特殊消防用設備等	特殊消防用設備等の工事の設計に関する図書、法第17条第3項に規定する設備等設置維持計画、法第17条の2第3項の評価結果を記載した書面及び法第17条の2第2項の認定を受けた者であることを証する書類
----------	----------	---

別表第1-3

設備の種類	添付図書	記載要領等
消火器 (工事計画届を除く。)	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 平面配置図 4 仕様書(パンフレット) 及び能力単位計算書	「能力単位計算書」は試験結果報告書備考欄に記載してあれば、別葉でなくても支障ない。
動力消防ポンプ設備  消防用水  連結散水設備  連結送水管  共同住宅用連結送水管	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 設備の概要表(別記様式 第5、14、16、17号) 4 平面図及び断面図等 5 配管系統図 6 配線系統図及び展開図 7 仕様書及び計算書 8 使用機器図	(1) 別表第1-2に掲げる消火設備欄の例によるこ と。 (2) 「設備の概要表」は、試験結果報告書の添付をも って代えることができる。 (3) 「連結送水管の試験結果報告書」は、配管耐圧試 験欄及び放水試験欄は空欄とし、消防検査時に行つ た結果を記載し、後日、届け出ることができる。
非常警報設備	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 設備の概要表 (別記様式第10号) 4 断面図 5 配線図(電源系統図、設 備系統図) 6 平面図 7 仕様書 8 非常電源	(1) 「防火対象物の概要表」には、無窓階の有無及び 該当階を明記するほか、収容人員を記入する。 (2) 「非常警報設備の概要表」は試験結果報告書の添 付をもって代えることができる。 (3) 「断面図」、「配線図」、「平面図」及び「非常 電源」は別表第1-2に掲げる警報設備欄の例によ ること。
漏電火災警報器 (工事計画届を除く。)	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 設備の概要表 (別記様式第8号) 4 平面図 5 配線系統図 6 仕様書	(1) 「平面図」には、次の内容を明記すること。 ア 引込線取付点から屋内分電盤までの配線と変 流器及び受信機の設置位置 イ 音響装置を設置した場所の用途 (2) 「配線系統図」には、次の内容を明記すること。 ア 引込線取付点から分電盤までの単線接続図 イ 操作電源の分岐方法、電源の太さ、開閉器等の 容量 (3) 「仕様書」は、仕様等の記載されたカタログ等に 代えることができる。
すべり台 すべり棒 避難ロープ (工事計画届を除く。)  避難はしご (工事計画届を除く。)  避難橋 避難用タラップ	1 付近見取図 2 設備の概要表 (別記様式第12号) 3 配置図 4 平面図 5 立面図 6 避難器具の設計図及び 構造計算書	(1) 「配置図」には、敷地内における建築物の位置、 他の建築物との別、建築物の各部分と敷地に接する 道路の位置及び幅員を記入する。 (2) 「平面図」には、設置位置を記入する。 (3) 「立面図」には、外壁面に設置階から避難階まで の動線を記入する。 (4) 「避難器具の設計図」には、避難器具を取り付ける 開口部の詳細、避難器具の取付金具及び取付ける部 分の詳細を記入する。 (5) 「構造計算書」には、避難器具の取付金具及び取 付ける部分の強度の算出方法を記入する。

設備の種類	添付図書	記載要領等
誘導灯 誘導標識	1 付近見取図 1 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 2 設備の概要表 (別記様式第13号) 3 平面図 4 配線系統図 5 仕様書 6 非常電源	(1) 「平面図」には、誘導灯又は誘導標識の設置位置、誘導灯の区分(A級、B級、C級)等を明記すること。また、特例が適用された部分には、その旨を表示すること。 (2) 「配線系統図」には、分電盤等からの電線の施工方法、種類、太さ、電線数及び使用電源等を明記すること。 (3) 「仕様書」は、仕様等の記載されたカタログ等に代えることができる。 (4) 「非常電源」は、別表第1-2消火設備欄の非常電源の例によること。(別置形に限る。)
排煙設備	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 設備の概要表 (別記様式第15号) 4 平面図 5 ダクト系統図 6 配線図 7 仕様書及び計算書 8 非常電源	(1) 「平面図」には、排煙区域、空気流入口、排煙口及び手動起動装置の位置を明記すること。 (2) 「ダクト系統図」には、階別の平面系統及び立面系統を明記すること。ただし、平面系統については平面図に明記することができる。 (3) 「仕様書」には、設備の概要及び使用器材の機能、構造等を明記すること。 (4) 「非常電源」については、別表第1-2消火設備欄の非常電源の例によること。
非常コンセント設備 共同住宅用非常コンセント設備	1 付近見取図 2 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 3 設備の概要表 (別記様式第18号) 4 平面図 5 立面図 6 配線系統図 7 仕様書 8 非常電源	(1) 「平面図」には、設置位置を明記すること。 (2) 「立面図」には、次の内容を明記すること。 ア 設置する場所の断面図 イ 箱体の立面図 (3) 「配線系統図」には、次の内容を明記すること。 ア 常用及び非常電源の配線 イ 開閉器等の位置、種類、容量等 (4) 「仕様書」は、仕様等の記載されたカタログ等に代えることができる。 (5) 「非常電源」については、別表第1-2消火設備欄の非常電源の例によること。
無線通信補助設備	1 付近見取図 2 案内図 3 防火対象物の概要表 (別記様式第1号) 4 設備の概要表 (別記様式第19号) 5 平面図 6 配線系統図 7 使用機器図	(1) 「平面図」には、設備系統を構成する機器、電線等を平面的に明記すること。 (2) 「配線系統図」には、次の内容を明記すること。 ア 常用電源及び非常電源から消防用設備等に至る配線の概要 イ 配線の立ち上がり・引き下げ及び機器の系統別配置状況等及び各機器(構成部品)における損失・利得及び輻射レベル (3) 「使用機器図」には、保護箱、混合器、分配器、空中線等の各機器の姿図、展開図、仕様等を明記すること。

別表第1-4

## 消防用設備等に係る工事の区分

工事の区分	内 容
新設	防火対象物（新築のものを含む。）に従前設けられていない消防用設備等を新たに設けることをいう。
増設	防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を付加することをいう。
移設	防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の全部又は一部の設置位置を変えることをいう。
取替え	防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を既設のものと同等の種類、機能・性能等を有するものに交換することをいう。
改造	防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を付加若しくは交換し、又は除外して消防用設備等の構成、機能・性能等を変えることをいい、「取替え」に該当するものを除く。
補修	防火対象物に設置されている消防用設備等について、変形、損傷、故障箇所などを元の状態又はこれと同等の構成、機能・性能等を有する状態に修復することをいう。
撤去	防火対象物に設置されている消防用設備等について、その全部を当該防火対象物から取外すことをいう。

別表第1-5

## 軽微な工事の範囲（着工届）

消防用設備等の種類	増設	移設	取替え
屋内消火栓設備 屋外消火栓設備	①消火栓箱 →2基以下で既設と同種類のものに限る。 →加圧送水装置等の性能（吐出量、揚程）、配管サイズ及び警戒範囲に影響を及ぼさないものに限る。	①消火栓箱 →同一の警戒範囲内での移設	加圧送水装置を除く構成部品
スプリンクラー設備	①ヘッド →5個以下で、既設と同種類のもので、かつ、散水障害がない場合に限る。 →加圧送水装置等の性能（吐出量、揚程）、配管サイズに影響を及ぼさないものに限る。 ②補助散水栓箱 →2個以下で既設と同種類のものに限る。	①ヘッド →5個以下で防護範囲が変わらない場合に限る。 ②補助散水栓箱 →同一警戒範囲内の移設	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斎開放弁を除く構成部品

消防用設備等の種類	増設	移設	取替え
水噴霧消火設備	<p>①ヘッド →既設と同種類のもの →一の選択弁において5個以内 →加圧送水装置等の性能(吐出量、揚程)、配管サイズに影響を及ぼさないものに限る。</p>	<p>①ヘッド →一の選択弁において2個以内 ②手動起動装置 →同一放射区画内で、かつ、操作性に影響のない場合に限る。</p>	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斉開放弁を除く構成部品
泡消火設備	<p>①ヘッド →既設と同種類のもの →一の選択弁において5個以内 →加圧送水装置等の性能(吐出量、揚程)、配管サイズ、泡混合装置、泡消火剤貯蔵量等の能力に影響を及ぼさないものに限る。</p>	<p>①ヘッド →一の選択弁において5個以下で警戒区域の変更のない範囲 ②手動起動装置 →同一放射区画内で、かつ、操作性に影響のない場合に限る。</p>	加圧送水装置、泡消火剤混合装置、減圧弁及び圧力調整弁を除く構成部品
不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備	<p>①ヘッド・配管(選択弁の二次側に限る。) →既設と同種類のもの →5個以下で薬剤量、放射濃度、配管のサイズ等に影響を及ぼさないものに限る。</p> <p>②ノズル →既設と同種類のもの →5個以下で薬剤量、放射濃度、配管のサイズ等に影響を及ぼさないものに限る。</p> <p>③移動式の消火設備 →既設と同種類のもの →同一室内に限る。</p> <p>④制御盤、操作盤等の電気機器起動用ガス容器、操作管、手動起動装置、火災感知器、放出表示灯、スピーカー、ダンパー閉鎖装置、ダンパー復旧装置 →既設と同種類のもの →同一室内で、かつ、電源容量に影響を及ぼさないものに限る。</p>	<p>①ヘッド・配管(選択弁の二次側に限る。) →5個以下で放射区域の変更のない範囲 ②ノズル →5個以下で放射区域の変更のない範囲 ③移動式の消火設備 →同一室内に限る。 ④制御盤、操作盤等の電気機器、起動用ガス容器、操作管、手動起動装置、火災感知器、放出表示灯、スピーカー、ダンパー閉鎖装置、ダンパー復旧装置 →同一室内で、かつ、電源容量に影響を及ぼさないものに限る。</p>	すべての構成部品 →放射区画に変更のないものに限る。
自動火災報知設備	<p>①感知器 →既設と同種類のもの →10個以下で警戒区域の変更がない場合に限る。</p> <p>②発信機、ベル、表示灯 →既設と同種類のもの →同一警戒区域内に限る。</p>	<p>①感知器 →10個以下で警戒区域の変更がない場合に限る。</p> <p>②発信機、ベル、表示灯 →同一警戒区域内に限る。</p>	<p>①感知器 →10個以下</p> <p>②受信機、中継器 →7回線を超えるものを除く。</p> <p>③発信機、ベル、表示灯</p>
ガス漏れ火災警報設備	<p>①検知器 →既設と同種類のもの →5個以下で警戒区域の変更がない場合に限る。</p>	<p>①検知器 →5個以下で警戒区域の変更がない場合に限る。</p>	受信機を除く。

消防用設備等の種類	増設	移設	取替え
避難器具（金属製避難はしご（固定式のものに限る。））（救助袋）（緩降機）	該当なし	①本体・取付金具 →同一階に限る。 →設置時と同じ施工方法に限る。	①標識 ②本体・取付金具 →設置時と同じ施工方法に限る。

※ 軽微な工事に該当する増設・移設・取替えの工事を同時に行う場合も軽微な工事に該当すること。

別表第1－6

## 軽微な工事の範囲（工事計画届）

消防用設備等の種類	増 設	移 設	取 替 え
漏電火災警報器	該当なし	変流器の移設で、同一警戒電路内のもの	すべての構成部品で、型式に変更がないもの
非常警報設備 (非常ベル・自動式サイレン)	音響装置、起動装置又は表示灯の増設 →既設と同種類のもので、同一階の範囲に増設する場合に限る。	音響装置、起動装置又は表示灯の移設で、同一階の範囲の場合	音響装置、起動装置又は表示灯
非常警報設備 (放送設備)	①起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯 →既設と同種類のもので、同一報知区域内に増設する場合 ②スピーカー →5個以下で、既設と同種類のもの	①起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯 →同一報知区域内のもの ②スピーカー →5個以下で、放送区域の変更がない場合に限る。	①增幅器、操作部又は遠隔操作器 →5回線以下 ②起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯 ③スピーカー →5個以下
避難器具	該当なし	本体又は取付金具の移設で、同一階の場合、かつ設置時と同じ施工方法の場合に限る。	①標識 ②本体・取付金具 →設置時と同じ施工方法に限る。
誘導灯及び誘導標識	5個以下の増設の場合	5個以下で、同一階の範囲での移設の場合	すべての構成部品で、区分及び機能に変更がないもの (誘導灯の) LED化を含む（5個以下に限る）◆
排煙設備	①防煙区画、排煙口、給気口又は風道 →排煙機及び給気機の能力に影響がない場合に限る。 ②手動起動装置 →操作性に影響がない場合に限る。 ③自動起動装置 →既設と同種類の場合に限る。	①排煙口、給気口又は風道 →排煙機及び給気機の能力に影響がない場合に限る。 ②手動起動装置 →同一防煙区画内で、かつ操作性に影響がない場合に限る。 ③自動起動装置 →同一防煙区画内で、かつ既設と同種類の場合に限る。	排煙機及び給気機を除く構成部品

消防用設備等の種類	増 設	移 設	取 替 え
連結散水設備	ヘッド(以下のすべてに該当する場合に限る。) →一の送水区域において5個以下で、散水障害がない場合 →送水区域に変更のない範囲である場合 →既設と同種類の場合 →加圧送水装置の性能、配管のサイズ等に影響がない場合	ヘッドの移設のうち、一の送水区域において5個以下の場合で、かつ送水区域に変更のない範囲である場合に限る。	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斉開放弁を除く構成部品で、同種のもの
連結送水管	該当なし	該当なし	加圧送水装置、減圧弁及び圧力調整弁を除く構成部品で、同種のもの
非常コンセント設備	該当なし	該当なし	すべての構成部品
無線通信補助設備	該当なし	該当なし	增幅器を除くすべての構成部品で、方式、周波数帯域及び設置方法に変更がないもの

※ 軽微な工事に該当する増設・移設・取替えの工事を同時に行う場合も軽微な工事に該当すること。

別記様式第1号

## 防火対象物の概要表

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消防用設備等の設置に係る階について、各階ごとに記入すること。

## 別記様式第2号

屋内消火栓設備・屋外消火栓設備  
水噴霧消火設備・泡消火設備 の概要表

水 源	専用・兼用	種 別	地下ピット・床置き・その他 ( )				有効水量(当該設備用)	m <sup>3</sup>		
加压送水装置	ポンプ方式 ユニット型	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力						
			電圧 V	φ × L/min × m × kw						
	呼水装置	有・無		有効容量	L	減水警報の表示場所				
		起動用圧力タンク	有・無	容 量	L	ポンプ設置場所				
高架水槽方式	有効落差 m	圧力水槽方式	加压圧力	MPa			内容積	m <sup>3</sup>		
屋内消火栓	1号 個	2号 個	易操作性 1号	個			合 計	個		
屋外消火栓	個	ホース	長さ m	本	表示灯	専用・兼用				
噴霧ヘッド	標準放射量 L/min	・ 標準放射圧力		MPa	・ 放射角度 °					
泡放出口	フォームヘッド 個 ・ フォームウォータースプリンクラーヘッド				個					
	高発泡用泡放出口	個	・ 泡ノズル	個	・ その他 ( )	個				
泡消火設備の方式	固定式(全域・局所) ・ 移動式	高発泡・低発泡		一斉開放弁	A 個					
泡消火薬剤	種別 たん白泡・合成界面活性剤・水成膜泡	貯蔵量	L	希釈容量濃度	%					
混合方式	差圧混合方式・管路混合方式・圧入混合方式・ポンプ混合方式・その他 ( )									
放水(出・射)区域	区域数	最大	放水(出・射)面積 m <sup>2</sup>	放水(出・射)量 L/min	放出体積 m <sup>3</sup>					
		最小	放水(出・射)面積 m <sup>2</sup>	放水(出・射)量 L/min	放出体積 m <sup>3</sup>					
起動装置	ポンプ起動方式	自火報発信機・専用スイッチ・起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他								
	起動感知方式	スプリンクラーヘッド ・ 感知器 ・ その他 ( )				手動式開放弁				
自動警報装置	流水検知装置 A 個	・ 圧力検知装置	個	・ その他						
配管	立上がり管口径 A	材質	専用・兼用 ( )			設備				
止水弁	逆止弁			その他 ( )						
ブースポンプ・タンク	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力					補助水槽			
		φ × L/min × m × kw					m <sup>3</sup>			
		φ × L/min × m × kw					m <sup>3</sup>			
電源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V 電灯回路 ・ 動力回路								
		DC V AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用				
	非常電源	自家発電設備	単相 ・ 三相 AC ・ DC V kVA		使用別	専用・共用				
		蓄電池設備	DC V AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用			
配線	非常電源専用受電設備 単相 ・ 三相 AC V									
その他	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ( )								
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ( )								
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他 ( )								
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ( )								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

## 別記様式第3号

## スプリンクラー設備の概要表

水 源	専用・兼用	地下ピット・床置き・その他( )				有効水量(当該設備用)	m <sup>3</sup>
加压送水装置	ポンプ方式 ユニット型	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量	× 全揚程	× 出力	
			電圧 V	φ × L/min ×	m ×	kW	
	呼水装置	有・無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
	起動用圧力タンク	有・無	容 量	L	ポンプ設置場所		
高架水槽方式		有効落差 m	圧力水槽方式	加圧圧力	MPa	内容積	m <sup>3</sup>
スプリンクラーヘッド等		閉鎖型(高感度)(温度 °C 個)・(温度 °C 個) 閉鎖型(標準型)(温度 °C 個)・(温度 °C 個) 小区画型(温度 °C 個)・(温度 °C 個) 側壁型(温度 °C 個)・(温度 °C 個) 開放型ヘッド 個	補助散水栓 個			減圧弁	
設備の方式		湿式・乾式・予作動式	自動警報装置	流水検知装置 A 個	・	圧力検知装置 個	
ポンプ起動方式		起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他( )		送水口(双口型 個)			
起動感知方式		スプリンクラーヘッド・感知器・その他( )		手動式開放弁			
一斉開放弁		A 個	電動弁等	A 個			
配管	立上がり管口径 A	材質		専用・兼用( )	設備		
管弁類	止水弁	逆止弁		その他( )			
放水型ヘッド		固定式( 個)・可動式( 個)	一斉開放弁	A 個			
加压送水装置	放水型ヘッド用 ポンプ	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量	× 全揚程	× 出力	
			電圧 V	φ × L/min ×	m ×	kW	
	呼水装置	有・無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
	起動用圧力タンク	有・無	容 量	L	ポンプ設置場所		
起動感知方式		感知器・走査型の感知器・その他( )					
配管	立上がり管口径 A	材質		専用・兼用( )	設備		
管弁類	止水弁	逆止弁		その他( )			
ブースポンターン	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量	× 全揚程	× 出力	補助水槽		
		φ × L/min ×	m ×	kW		m <sup>3</sup>	
		φ × L/min ×	m ×	kW		m <sup>3</sup>	
補助加装装置	ポンプ、電動機	φ × L/min ×	m ×	kW			
		φ × L/min ×	m ×	kW			
		φ × L/min ×	m ×	kW			
電源	常用電源	単相・三相 AC V	電灯回路	・ 動力回路			
		DC V	AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用
	非常電源	自家発電設備	単相・三相 AC・DC V	kVA		使用別	専用・共用
		蓄電池設備 DC V AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用	
非常電源専用受電設備		単相・三相 AC V					
配線	常用電源回路	露出ケーブル、電線管露出、電線管理設、その他( )					
	非常電源回路	耐火電線、電線管露出、電線管理設、その他( )					
	警報回路	耐熱電線、電線管露出、電線管理設、その他( )					
	その他の回路	IV電線、露出ケーブル、電線管露出、電線管理設、その他( )					
その他							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

## 別記様式第4号

不活性ガス消火設備・ハロゲン化物消火設備  
粉末消火設備 } の概要表

放出方式	全域放出方式・局所放出方式・移動式				制御盤設置位置				
貯蔵容器等	蓄圧(高圧式・低圧式・その他( ))・加圧								
起動方式	手動電気式・手動ガス式・自動式								
音響警報	音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他( )								
放出表示灯	設置個数	箇所	回転灯等	設置個数	箇所	赤色表示灯	専用・兼用		
消火剤	種別				設置場所				
	容器別数量	kg ×容器本数	本						
加圧用ガス	kg ×容器本数	本 = 総数量				kg			
	窒素ガス・二酸化炭素	数量	m³・L・kg		容器本数	本			
配管	管								
	弁類	選択弁・放出弁・減圧弁・閉止弁・その他( )							
放出区域	区域数	最大	放出面積	m²	放出率	kg/s	放出体積 m³		
	区域	最小	放出面積	m²	放出率	kg/s	放出体積 m³		
移動式消火設備の数		箇所							
電源	常用電源	単相・三相 AC V	電灯回路	・ 動力回路					
	非常電源	DC V AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用			
配線	自家発電設備	単相・三相 AC・DC V	kVA	使用別	専用・共用				
	蓄電池設備	DC V AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用			
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他( )							
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他( )							
警報回路	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他( )							
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他( )							
	放出区域名	階	面積	体積	換気口	換気装置	排出措置	消火剤量	ヘッド数
1			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
2			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
3			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
4			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
5			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
6			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
7			m²	m³	有(閉)・無	有(停)・無	機械・自然	kg	個
その他									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式第5号

## 動力消防ポンプ設備概要表

		項 目	
種 別		<input type="checkbox"/> 消防ポンプ自動車 <input type="checkbox"/> 自動車に牽引されるもの <input type="checkbox"/> 小型動力ポンプ付積載車 <input type="checkbox"/> 可搬消防ポンプ	
水 源	種 別	<input type="checkbox"/> 防 火 水 槽 <input type="checkbox"/> 地 上 タンク <input type="checkbox"/> そ の 他	
	水 量	保 有 量 _____ · 有 効 水 量 _____ · <input type="checkbox"/> 専 用 <input type="checkbox"/> 兼 用	
水源と可搬消防ポンプまでの歩行距離			_____m
動 力 消 防 ポ ン プ	ボ ン プ の 級 別	A · B · C · D - _____級	
	規 格 放 水 量	_____L/min	
	吸 水 口 の 口 径	_____mm	
	放 水 口 の 口 径	_____mm	
	放 水 口 数	_____口	
放 水 用 具	消 防 ホ ー ス	呼称 _____ × 長さ _____m × _____本	
	筒 先 口 径	_____mm	
	吸 管 スト レ ー ナ ー	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
そ の 他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、動力消防ポンプ設備試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

## 別記様式第6号

自動火災報知設備の概要表

(その1)

	機種		蓄積	自動	遠隔	種別	個数
	式	型( )					
感	型式番号	感 第 号	製造会社名				
	式	型( )					
知	型式番号	感 第 号	製造会社名				
	式	型( )					
器	型式番号	感 第 号	製造会社名				
	式	型( )					
発信機	型式番号	感 第 号	製造会社名				
	式	型( )					
表示灯	型式番号	感 第 号	製造会社名				
	式	型( )					
中	屋内型	型級個	型式番号	発第号	製造会社名		
	屋外型	型級個	型式番号	発第号	製造会社名		
継器	表示灯	V	個				
	種別	回線数	電源供給方式		設置台数		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
	自動遠隔アログその他	型式番号	中第号		専用(予備電源 V AH)・受信機その他( )		
製造会社名							

## 別記様式第6号

(その2)

受信機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・その他( )									
	P・GP型 級 / 回線		R・GR型 自火報点数		点	その他( )	点数	点		
	予備電源 (DC V AH)		設置場所		階室					
	型式番号 受第 号		製造会社名							
表示器	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点									
	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点									
電源	常用電源		単相・三相 AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路・動力回路							
	非常電源		DC V AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用( ))							
	非常電源		非常電源専用受電設備 単相・三相 AC V							
	蓄電池設備		DC V AH 充電方式(トリクル・浮動) 使用別(専用・共用( ))							
音響装置	主音響装置 <small>(隠れていらるの欄)</small>		ベル・サイレン・電子ブザー・音声合成・その他( )							
	地区音響装置		鐘径 mm	定格 DC V mA	個					
	音声切替装置		型式番号(号)	製造会社名						
	音声切替装置		型式番号(号) 認定番号(号)	製造会社名						
	音声切替装置		ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他( )							
	音声切替装置		鐘径 mm	定格 DC V mA	個	dB				
	音声切替装置		型式番号(号) DC V	製造会社名						
	音声切替装置		常用電源 単相 AC V	非常電源専用受電設備回路・電灯回路						
	音声切替装置		非常電源 蓄電池設備 DC V AH	充電方式(トリクル・浮動)						
	配線		常用電源回路	ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他( )						
配線		非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他( )							
配線		警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他( )							
配線		その他回路	IV電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他( )							
工事者区分		関連設備		消火設備( )・火災通報装置・誘導灯信号装置						
		関連設備		非常警報設備・放送設備・その他( )						
		工事者区分		電源工事						
		工事者区分		配線工事						
		工事者区分		配線工事						
工事者区分		機器の取付け工事								
その他										

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。  
 3 感知器記入欄の( )内は、その機能又は性能を記入すること。  
 4 関連設備の消火設備( )内は、その設備等の種類を記入すること。

## 別記様式第7号

ガス漏れ火災警報設備の概要表

検知器	検知対象ガス	空気より軽い都市ガス	空気より重い都市ガス	その他のもの			
	個数	個	個	個			
中継器	回線 個		専用方法 電源 受信機供給方法 予備電源 V AH その他の方法				
受信機	区分	型		回線数	/ 回線		
	附属装置			附属回路			
	予備電源	V AH		設置場所 階			
電源	常用電源	単相・三相 AC V 電灯回路・動力回路					
		DC V AH	充電方法	トリクル・浮動	使用別 専用・共用		
	非常電源	蓄電池設備 DC V AH	充電方法	トリクル・浮動	使用別 専用・共用		
		インバーター出力	VA				
	自家発電設備		単相・三相 AC V kVA				
警報装置	音声警報装置	増幅器出力		スピーカー個数	非常用放送設備と兼用		
		定格 W	個		有・無		
	ガス漏れ表示灯	中継器附属のもの		その他のもの			
		個		個			
検知区域警報装置	検知器附属のもの		その他のもの				
	個		個				
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他( )					
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他( )					
	検知器回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他( )					
	警報装置回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他( )					
	その他回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他( )					
工事者区分	電源及び配線			機器取付			
製造者名	受信機製造会社 型式番号						
	中継器製造会社 型式番号						
	検知器製造会社						
その他							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式第8号

## 漏電火災警報器概要表

		項目
契約電流		_____A
受信機	設置場所	_____階_____
	連動遮断機構	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	公称作動電流	_____mA
変流器	構造	<input type="checkbox"/> 分割型・ <input type="checkbox"/> 貫通型 <input type="checkbox"/> 屋外(兼用)型・ <input type="checkbox"/> 屋内型
	設置場所	_____階_____
	定格値	定格電流_____A・定格電圧_____V
遠方ブザー位置		_____階_____
その他の		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、漏電火災警報器試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

## 別記様式第9号

消防機関へ通報する火災報知設備の概要表

火 災 通 報 裝 置	品 名 ・ 型 式				型式番号	
	製 造 会 社 名					
	設 置 場 所	階				
	遠 隔 起 動 装 置	設 置 場 所	電 話 機 付 ( 台 )	(1)	(2)	(3)
				(4)	(5)	(6)
			電 話 機 な し ( 台 )	(1)	(2)	(3)
				(4)	(5)	(6)
	選 択 信 号 送 出 方 式	DP 方式 (10PPS、20PPS) • PB 方式				
	自 動 火 灾 報 知 設 备 連 動	有 • 無				
	常 用 電 源	AC V				
	予 備 電 源	DC V AH				
M型発信機	設 置 場 所					
工事者区分	電 源 工 事					
	配 線 工 事					
	機 器 の 取 付 工 事					
	工事担当者 (電話工事)	氏名			資格	
そ の 他						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

## 別記様式第10号

非常警報設備（非常ベル・自動式サイレン・放送設備）概要表

項目			
□ 放 送 設 備	方式	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 業務兼用	回線数 _____ / _____ 回線
	増 幅 器	型名 _____ 認定番号 _____ 定格出力 _____ W 消費電力 _____ W 設置場所 _____ 階	
	操作部	放送区分 <input type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> 階別選択 設置場所 _____ 階	
	遠隔操作器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型式 _____ 認定番号 _____ 設置場所 _____ 階	
	起動装置	<input type="checkbox"/> 押しボタン <input type="checkbox"/> 発信機 <input type="checkbox"/> 非常電話 <input type="checkbox"/> 自火報の感知器連動	
	非常電話	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型名 _____ 認定番号 _____ 子機 _____ 台 本機の設置場所 _____ 階	
	自動放送	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 起動方式  □押しボタン □発信機と連動 □非常電話と連動 □自火報の感知器と連動 □手動操作のみ	
	スピーカー	<input type="checkbox"/> 2線式 <input type="checkbox"/> 3線式 音量調整器 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置方式 <input type="checkbox"/> 壁掛 <input type="checkbox"/> 埋込 <input type="checkbox"/> その他 スピーカー型式 <input type="checkbox"/> L級×_____個 <input type="checkbox"/> M級×_____個 <input type="checkbox"/> S級×_____個	
	□ 非 常 ベル ・ □ 自 動 式 ・ □ サ イ レ ン	機器の種別 認定番号 _____	<input type="checkbox"/> 一体型 <input type="checkbox"/> 複合装置 <input type="checkbox"/> 単体型 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
音響装置	鐘(スピーカー) 径 _____ mm 電圧 _____ V 電流 _____ mA 設置数 <input type="checkbox"/> 屋内型 _____ 個 <input type="checkbox"/> 屋外型 _____ 個		
操作装置	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 回線数 / 回線 設置場所 _____ 階		
非電常源	<input type="checkbox"/> 専用受電設備 AC _____ V <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 据置 <input type="checkbox"/> 内蔵 <input type="checkbox"/> トリクル充電 <input type="checkbox"/> 浮動充電 _____ V _____ Ah		
配線	常用電源回路: <input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 非常電源回路: <input type="checkbox"/> 耐火電線 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 警報回路: <input type="checkbox"/> 面撲電線 <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 弱電回路: <input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他		
その他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、非常警報設備試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

## 別記様式第11号

## 避難器具の概要表(着工届用)

防火対象物の概要											
名称				所在地							
用途				階数(階層)	地上	階	地下	階	塔屋	階	
主要構造部	耐火構造・準耐火構造・その他( )					延べ面積					m <sup>2</sup>
避難器具の概要											
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
								は( )・袋( )・緩( )			
避難器具の種別											
型式番号	第～号		第～号		第～号			第～号			
設置場所の状況 (用途、構造等)											
開口部の大きさ 縦×横(m)	×		×		×			×			
腰高(cm)											
操作面積(m <sup>2</sup> )											
固定位置											
固定方法											
固定部材にかかる設計荷重(kN)											
固定部材の許容応力(kN)											
その他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の( )内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

## 別記様式第12号

## 避難器具の概要表(工事計画届用)

防火対象物の概要								
名称			所在地					
用途			階数(階層)		地上	階	地下	階
主要構造部	耐火構造・準耐火構造・その他( )					延べ面積	m <sup>2</sup>	
避難器具の概要								
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
								は( )・す( )・ロ( )・棒( )・橋( )・タ( )
避難器具の種別								
型式番号	第～号		第～号		第～号		第～号	
設置場所の状況 (用途、構造等)								
開口部の大きさ 縦×横(m)	×		×		×		×	
腰高(cm)								
操作面積(m <sup>2</sup> )								
固定位置								
固定方法								
固定部材にかかる設計荷重(kN)								
固定部材の許容応力(kN)								
その他								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は避難はしご、「す」はすべり台、「ロ」は避難ロープ、「棒」はすべり棒、「橋」は避難橋、「タ」は避難タラップを表し、避難器具の種別の後の( )内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

## 別記様式第13号

誘導灯・誘導標識概要表

項目		
区 避難口誘導灯	□ A級	□矢印なし □有効距離60m____個 □その他有効距離____m____個 □矢印付き □有効距離40m____個 (備考2)
		□ BH形
	B級	□矢印なし □有効距離30m____個 □その他有効距離____m____個 □矢印付き □有効距離20m____個
		□ BL形
	□ C級	□有効距離15m____個 □その他有効距離____m____個
	□ A級	□有効距離20m____個 □その他有効距離____m____個
分 通路誘導灯	B級	□ BH形
		□有効距離15m____個 □その他有効距離____m____個
	□ BL形	□有効距離15m____個 □その他有効距離____m____個
		□有効距離10m____個 □その他有効距離____m____個
	□階段通路誘導灯	____個 (□非常用の照明装置を設置)
	□客席誘導灯	____個
機能 (方 式) その 他	□誘導標識	□高輝度蓄光式 ____個 □中輝度蓄光式 ____個 □その他 ____個
	□点滅・誘導音機能	□視力又は聴力の弱い者の避難経路となる部分
	□点滅機能のみ	□百貨店等の地階の売場
	□誘導音機能のみ	□誘導灯を容易に識別しにくい部分
	□ 消灯方式	□無人の防火対象物
		□外光により避難口又は壁面の方向が識別できる場合
	□ 制御機器の設置	□利用形態により特に暗さが必要である場所
		□主として防火対象物の関係者及び関係者に雇用されている者の使用に供する場所
		□省令第28条の3第3項第1号ニに掲げる場所で通常開放されている部分
		□受信機(移報装置を含む) ____個 □信号装置 ____個
		□光電式自動点滅器 ____個 □連動開閉器 ____個
その他	□ 通路誘導灯の補完	□扇形開閉器と連動する点滅器 ____個 □連動装置 ____個
		□照明器具連動点滅器 ____個 □制御専用煙感知器 ____個
	□施設連動点滅器 ____個	
	□蓄光式誘導標識 □光を発する帯状の標示	□その他 _____
	非常電源の容量	□20分間 □60分間
その他		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

3 その他有効距離は、省令第28条の3第2項第2号による場合の当該有効距離及び個数を記入すること。

別記様式第14号

## 消防用 水概要表

		項目	
方式		<input type="checkbox"/> 自吸式 <input type="checkbox"/> 加圧式	
水源	種別 水量	<input type="checkbox"/> 防火水槽 <input type="checkbox"/> 地中梁 <input type="checkbox"/> 据置き <input type="checkbox"/> その他 保有量_____・ 有効水量_____・ <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 兼用	
種別	<input type="checkbox"/> 連絡装置：有・ブースターポンプ：有 <input type="checkbox"/> 連絡装置：有・ブースターポンプ：無 <input type="checkbox"/> 連絡装置：無・ブースターポンプ：有 <input type="checkbox"/> 連絡装置：無・ブースターポンプ：無		
連絡装置設置位置		<input type="checkbox"/> 採水口付近 <input type="checkbox"/> 防災センター内 <input type="checkbox"/> その他_____	
ブースターポンプ電動機	設置位置	_____	
	ポンプ 電動機	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 兼用    吐出量 全揚程_____m    口径_____mm	L/min
	ポンプ 電動機	電圧_____V	出力_____kW
	呼水管装置	有効容量_____L 給水方法_____	呼水管_____A 減水警報の種別_____及び表示場所_____
起動スイッチ設置位置		<input type="checkbox"/> 採水口付近 <input type="checkbox"/> 防災センター内 <input type="checkbox"/> その他_____	
採水口	<input type="checkbox"/> 呼称75ねじ式 <input type="checkbox"/> 呼称65ねじ式		
吸水入口	投入口の寸法 直径_____cm 投入口である旨の表示 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
その他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、消防用水試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

別記様式第15号

## 排煙設備概要表

方	式	<input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 機械 ( <input type="checkbox"/> 吸引排煙 <input type="checkbox"/> 加圧防排煙)
項目		
排 煙 機	設置位置	階
	機械室の構造	壁 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他
		天井 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他
		開口部 <input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃
排出量	_____ · /min	
非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備	
起動装置	<input type="checkbox"/> 自動 (感知器連動)	
	<input type="checkbox"/> 手動 <input type="checkbox"/> 遠隔操作	
排 煙 口	大きさ	_____ m × _____ m
	設置位置	<input type="checkbox"/> 天井面 <input type="checkbox"/> 天井直下 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
防煙区分の構造等	防煙区分面積 最大 _____ ·	
	防煙画の構造 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
風道等	風道構造	<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
	区画ダンパー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 種別
給 気 機	設置位置	階
	機械室の構造	壁 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他
		天井 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他
		開口部 <input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃
給気量	_____ · /min	
非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備	
起動装置	<input type="checkbox"/> 自動 (感知器連動)	
	<input type="checkbox"/> 手動 <input type="checkbox"/> 遠隔操作	
給 気 口	大きさ	_____ m × _____ m
	設置位置	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
防煙区分の構造等	防煙区分面積 最大 _____ ·	
	防煙画の構造 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
風道等	風道構造	<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)
	区画ダンパー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 種別
消火活動拠点	<input type="checkbox"/> 特別避難階段の付室、 <input type="checkbox"/> 非常用エレベーターの乗降ロビー	
	<input type="checkbox"/> その他 (_____)	
特記事項		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

別記様式第16号

## 連結散水設備概要表

		項目	
設備方式		<input type="checkbox"/> 開放型ヘッド方式 <input type="checkbox"/> 閉鎖型ヘッド方式(屋内消火栓設備兼用方式・高架水槽方式)	
開放型ヘッド方式	送水区域数	_____区域	
	送水口数	双口型_____基	
	ヘッド	最大設置数_____個 最小設置数_____個	
	選択弁	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し (設置場所_____ 口径_____A _____個)	
	排水弁	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し (設置場所_____ 口径_____A _____個)	
	設計送水圧力	_____ MPa	
	配管	管材種	<input type="checkbox"/> JIS_____ <input type="checkbox"/> その他_____
		管継手	<input type="checkbox"/> JIS_____ <input type="checkbox"/> その他_____
		弁類	<input type="checkbox"/> JIS_____ (_____K) <input type="checkbox"/> JIS以外_____ (_____K)
		接続	<input type="checkbox"/> ねじ <input type="checkbox"/> その他_____
防食措置	<input type="checkbox"/> ライニング管 <input type="checkbox"/> その他( )		
閉鎖型ヘッド方式	水源水量	有効_____・	
	送水口	双口型_____基	
	ヘッド	閉鎖型ヘッド_____個 表示温度 _____℃	
	連結送水管兼用	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	加压送水装置等	<input type="checkbox"/> ポンプ方式(設置場所_____ • <input type="checkbox"/> 専用ポンプ <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備用ポンプ • ポンプ(吐出量_____L/min×全揚程_____m×口径_____A) • 電動機(電圧_____V 出力_____kW) <input type="checkbox"/> 高架水槽方式(設置場所_____ • <input type="checkbox"/> 専用高架水槽 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備用高架水槽 • 落差_____m	
ド方式	起動方法	<input type="checkbox"/> 流水検知装置(設置数_____個 口径_____A) <input type="checkbox"/> 圧力検知装置(設置数_____個 口径_____A)	
	設計送水圧力	_____ MPa	
	管	<input type="checkbox"/> JIS G 3442 <input type="checkbox"/> JIS G 3452 <input type="checkbox"/> その他	
	管継手	<input type="checkbox"/> フランジ <input type="checkbox"/> JIS B 2238 <input type="checkbox"/> JIS B 2220 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> フランジ以外 <input type="checkbox"/> JIS B 2301 <input type="checkbox"/> JIS B 2311 <input type="checkbox"/> JIS B 2312 <input type="checkbox"/> その他	
	弁類	<input type="checkbox"/> JIS_____ (_____K) <input type="checkbox"/> JIS以外_____ (_____K)	
	配管の防食措置	<input type="checkbox"/> ライニング管 <input type="checkbox"/> その他( )	
その他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、連結散水設備試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

別記様式第17号

## 連 結 送 水 管 概 要 表

項目																			
方 式	<input type="checkbox"/> 乾式 <input type="checkbox"/> 湿式(ブースターポンプ有り・ブースターポンプ無し)																		
設計送水圧力(1.6MPa以下)	MPa (ブースターポンプ起動時 MPa)																		
スプリングクラー設備状況	<input type="checkbox"/> 全階設置 <input type="checkbox"/> 一部設置(設置階 階) <input type="checkbox"/> 設置無し																		
系 統 数 等	<input type="checkbox"/> 系統( <input type="checkbox"/> バイパス接続無し <input type="checkbox"/> バイパス接続有り) <input type="checkbox"/> 連結送水管専用 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備兼用																		
送 水 口 数	双口型 基																		
放 水 口 位 置	<input type="checkbox"/> 特別避難階段等の附室 <input type="checkbox"/> 屋外階段 <input type="checkbox"/> 屋内階段 <input type="checkbox"/> 階段等付近																		
非常用 E L V	<input type="checkbox"/> 設置あり <input type="checkbox"/> 設置無し																		
放 水 口 等 設 置 数	階 別																		
	单 口 形																		
	双 口 形																		
	放水用具	有 有 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無	有 無 無				
逆 止 弁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	止水弁			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	排水弁			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無										
配 管 等	管	<input type="checkbox"/> JIS G3442 <input type="checkbox"/> JIS G3452 <input type="checkbox"/> JIS G3454 Sch40 <input type="checkbox"/> その他																	
	管 継手	<input type="checkbox"/> フランジ		<input type="checkbox"/> JIS B2238		<input type="checkbox"/> JIS B2220		<input type="checkbox"/> その他											
		<input type="checkbox"/> フランジ以外		<input type="checkbox"/> JIS B2301		<input type="checkbox"/> JIS B2311		<input type="checkbox"/> JIS B2312		<input type="checkbox"/> その他									
	弁 類	<input type="checkbox"/> JIS K <input type="checkbox"/> JIS以外 K																	
	防 食 措 置	<input type="checkbox"/> ライニング管 <input type="checkbox"/> その他( )																	
主 管 内 径	<input type="checkbox"/> 全部100A以上																		
加 壓 送 水 装 置	設 置 位 置	階				圧力調整装置			<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し										
	ボ ン プ	吐出量 L/min × 全揚程 m × 口径 A																	
	電 動 機	電圧 V 出力 kW																	
	非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備																	
	配 線	<input type="checkbox"/> 非常電源回路: <input type="checkbox"/> 耐火電線 <input type="checkbox"/> 電線埋設 <input type="checkbox"/> その他																	
	操 作 回 路	<input type="checkbox"/> 操作回路: <input type="checkbox"/> 耐熱電線 <input type="checkbox"/> 電線埋設 <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> その他																	
	中間水槽等	中間水槽容量 · 送水口 個 放水口 個																	
	起動装置位置	<input type="checkbox"/> 防災センター等 <input type="checkbox"/> 送水口直近 <input type="checkbox"/> その他																	
連絡装置等	<input type="checkbox"/> 送水口直近 <input type="checkbox"/> 防災センター等 <input type="checkbox"/> ブースターポンプ室																		
その 他																			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

3 本概要表は、連結送水管試験結果報告書の添付をもって代えることができる。

別記様式第18号

## 非常コンセント設備概要表

項目	
設置場所	_____階_____
設置数	地下4階以下 _____ 個
	11階以上 _____ 個
	地下街 _____ 個
	上記以外 _____ 個
	計 _____ 個
幹線數	_____系統
非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備
その他の	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 本概要表は、非常コンセント設備試験結果報告書の添付を持って代えることができる。

別記様式第19号

## 無線通信補助設備概要表

項目																			
増幅器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置場所 _____ 型名 _____ 利得 _____ dB																		
方式	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 共用 ( <input type="checkbox"/> 警察用 <input type="checkbox"/> 携帯電話用 <input type="checkbox"/> その他 _____)																		
周波数帯域	_____ MHz																		
設置方式	<input type="checkbox"/> 漏洩同軸ケーブル <input type="checkbox"/> 漏洩同軸ケーブルと空中線方式 <input type="checkbox"/> 空中線方式																		
無線機接続	保護箱 ( <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 保護箱の大きさ (mm) _____ × _____ × _____ 許容入力(設計値) _____ W (連続)																		
端子位置	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>端子設置場所</th> <th>設置個数</th> <th rowspan="2">その他</th> <th>端子設置場所</th> <th>設置個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防用</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td></td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>		端子設置場所	設置個数	その他	端子設置場所	設置個数	消防用	_____	_____	_____	_____	_____		_____	_____	_____	_____	_____
	端子設置場所	設置個数	その他	端子設置場所		設置個数													
消防用	_____	_____		_____	_____	_____													
	_____	_____	_____	_____	_____														
混合器 共用器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置場所 _____ 入力端子数 _____ 挿入損失 _____ dB																		
分配器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型名 _____ 挿入損失 _____ dB																		
同軸ケーブル	使用長 _____ m 敷地場所 _____ 型名 _____ 伝送損失 標準 _____ dB/km 施工方法 <input type="checkbox"/> 電線管工事 <input type="checkbox"/> 露出工事 耐熱措置の方法 _____																		
空中線	型名 _____ 設置個数 _____ 利得 _____ dB 電圧定在波比 _____ MHzにて、_____																		
漏洩同軸 ケーブル	使用長 _____ m 設置個数 _____ 型名 _____ 結合損失 標準 _____ dB 耐熱措置の方法 _____ 伝送損失 標準 _____ dB/km																		
その他	製造会社名 _____ 漏洩同軸ケーブル _____ 空中線 _____ 分配器 _____ 分配器 _____ 工事業者 _____ 工事業者連絡電話 _____																		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- 2 項目中□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。  
 3 良否欄は、記入しないこと。

## 別記様式第20号

## 総合操作盤の概要表

品名・型式				
音響装置		<input type="checkbox"/> ベル・ <input type="checkbox"/> ブザー・ <input type="checkbox"/> 音声警報・その他( )		
表示方法		<input type="checkbox"/> CRT・ <input type="checkbox"/> グラフィックパネル・ <input type="checkbox"/> 窓・その他( )		
製造会社名				
監視場所(副監視)(遠隔監視)		階室		
電源	常用電源	AC V		
	非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備・ <input type="checkbox"/> 非常電源(自家発電設備)・ <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 DC V AH		
消防用設備等	<input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備		<input type="checkbox"/> スプリンクラー設備	<input type="checkbox"/> 水噴霧消火設備
	<input type="checkbox"/> 泡消火設備		<input type="checkbox"/> 不活性ガス消火設備	<input type="checkbox"/> ハロゲン化物消火設備
	<input type="checkbox"/> 粉末消火設備		<input type="checkbox"/> 屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備
	<input type="checkbox"/> ガス漏れ火災警報設備		<input type="checkbox"/> 非常警報設備(放送設備に限る。)	<input type="checkbox"/> 誘導灯
	<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 連結散水設備	<input type="checkbox"/> 連結送水管
	<input type="checkbox"/> 非常コンセント設備		<input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
避難設備・建築設備等	<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 非常用の照明設備	<input type="checkbox"/> 機械換気
	<input type="checkbox"/> 空気調和		<input type="checkbox"/> 非常用エレベーター	<input type="checkbox"/> 防火区画(構成機器設備)
	<input type="checkbox"/> 防煙区画(構成機器設備)		<input type="checkbox"/> 非常錠設備	<input type="checkbox"/> ITV設備
	<input type="checkbox"/> ガス緊急遮断弁		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工事者区分	電源工事			
	配線工事			
	配線工事			
	機器の取付工事			
	機器の取付工事			
	機器の取付工事			
その他				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の□印内をチェックすること。  
 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

## 別記様式第21号

パッケージ型消火設備の概要表

種 別		I型×( )台・II型×( )台																	
認 定 番 号		号	型式記号																
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧(MPa)	材質		内容積	L×本													
消火薬剤	種 別		型式番号																
	貯 藏 量	(1台当たり)	L×本=	L															
加 圧 用 ガ ス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素																
		充 填 量	(1台当たり) m <sup>3</sup> ・L・kg × 本	充填圧力	MPa														
ホース等	材 質					ノズル切替有無	有・無												
	寸 法		長さ m (I型・II型)																
	ホース収納方式		リール収納方式・ホース架収納方式																
設 置 場 所		設 置 階																	
		台 数																	
電 源	常用電源回路		単相・三相 AC V	電灯回路・動力回路															
	DC V AH	充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同																	
	非常電源回路	種別 ( ) DC V AH	充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同																
配 線	表 示 灯 回 路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他( )																	
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他( )																	
放 射 能	放 射 率	L/min																	
	放 射 距 離	m																	
	全量放射時間	秒																	
備 考																			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

## 別記様式第22号

パッケージ型自動消火設備の概要表

認定番号・設置台数		認定型式番号		号×台	型式記号				
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧 ( MPa)		材質		内容積	L×本		
消火薬剤		種別			型式番号				
薬剤量		容器別数量	L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数	本 本 本 本 本 本	L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 L×容器本数 =総量	本 本 本 本 本 L			
加圧用ガス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素						
		充填量	(1台当たり)	m <sup>3</sup> ·L·kg×本	充填圧力	MPa			
本体設置状況		薬剤貯蔵容器等			接地端子	有・無			
感知部	感知器の種別	式	型( )	型式番号:感第号×種個					
		式	型( )	型式番号:感第号×種個					
		式	型( )	型式番号:感第号×種個					
		式	型( )	型式番号:感第号×種個					
検出方式									
音響装置		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他( )		連動有無	有( )無				
手動起動方式									
放出導管		主管	材質:	呼び方:	分歧管	材質:			
		最大長さ m							
放出口		材質:	放射量: L/min						
補助散水栓		屋内消火栓(1号・2号・易操作1号)×台		I型×台	II型×台				
電源	常用電源回路	単相・三相 AC V	電灯回路・動力回路						
		DC V AH	充電方式: トリクル・浮動		使用別: 専用・共同				
	非常電源回路	種別( ) DC V AH	充電方式: トリクル・浮動		使用別: 専用・共同				
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他( )							
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他( )							
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他( )							
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他( )							
階	階面積	主な用途	同時放射区域	最大同時放 射区域面積	放出口数	備考			
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
階	m <sup>2</sup>		区域	m <sup>2</sup>	個				
合計			区域		個				
備考									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。